

令和8年度みやぎ環境交付金（市町村提案型）事業（計画・実績）概要書

市町村名	南三陸町		
事業名	環境DNA法を用いた志津川湾における魚類相調査		
＜事業目的＞	二酸化炭素削減効果	-	
	その他の効果	利用可能な水産資源の発見等	
<p>近年温暖化により志津川湾内でも北方系のサケの漁獲量が低下し、イセエビが獲れる魚種交代の傾向がある。このような環境変化に対応するためには、水産資源として利用可能な候補種を多数見つけておくことが重要となる。</p> <p>志津川湾に出現する魚の調査を継続することは、利用可能な水産資源と候補種の把握のほか新たな名産種や養殖対象種を発見・開発ができるだけでなく、今後極端な環境変動が起こった場合、環境に対応した魚種を漁獲・養殖することで、自然と共生した産業の創造につなげることを目的とする。</p>			
<p>＜事業内容＞</p> <p>本事業では、志津川湾内3か所で採水を行い、魚類相の1年間の変化をモニタリングする。小・中学生によるエコクラブほか町民の調査参加者を募り環境DNA採水キットを送付し、各自選択地点で採水。採水後ろ過サンプルを取りまとめDNAを抽出、分析する。想定サンプル数は100。得られたDNA配列データは、町の研究員が解析して、自然と共生した産業創造の具体的取組みに繋げるほか、併せて町内外で環境教育に活用した。</p>			
<p>○普及啓発人数</p> <p>計画：100人</p> <p>実績：108人</p>			
<p>総事業費：4,235,264円</p> <p>県補助額（率）：4,235,264円（100%）</p> <p>町負担額（率）：0円（0%）</p>			